繊維強化セメント板

(JIS A 5430)

2025.07

せんい強化セメント板協会

目　次

1 繊維強化セメント板とは …… 2

2 種　　類 …… 3

2-1　種類 …… 3
2-2　組成 …… 3
2-3　略号と用途 …… 3

3 製品の標準寸法 …… 4

3-1　スレート波板 …… 4
3-2　スレートボード …… 4
3-3　けい酸カルシウム板タイプ 2 …… 4
3-4　けい酸カルシウム板タイプ 3 …… 4

4 一般性能 …… 5

4-1　スレート波板 …… 5
4-2　スレートボード …… 5
4-3　けい酸カルシウム板タイプ 2 …… 5
4-4　けい酸カルシウム板タイプ 3 …… 5

5 防火性能 …… 6

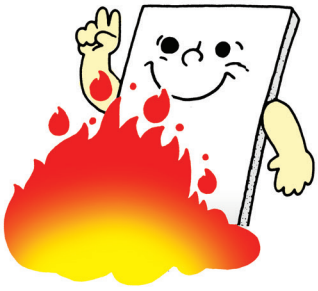
5-1　不燃性能 …… 6

1 繊維強化セメント板とは

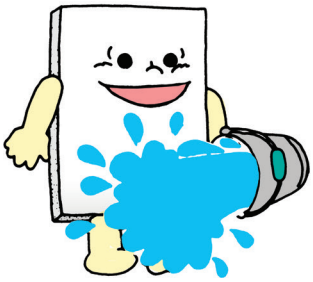
繊維強化セメント板は古くて新しい現代の建築材料です

建築材料はそれぞれ特長をもっています。そして、一長一短があるものです。例えば、見た目は美しいが燃え易いとか、耐久性がないといったように、ある面でかなり優れていても、他の面でどうにもならない欠点を持っていては何にもなりません。

その点、繊維強化セメント板は、性能のバランスがとれている材料といわれています。

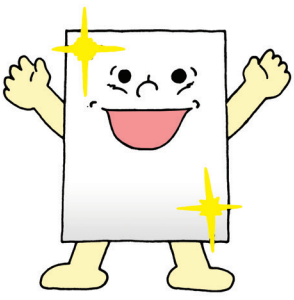


●燃えない

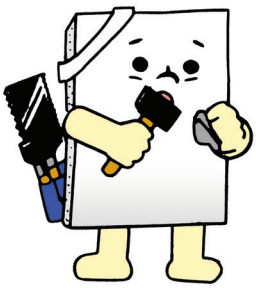


●水に強い

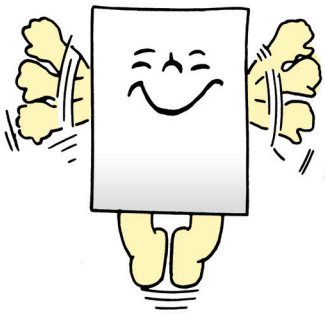
●丈夫で長持ち



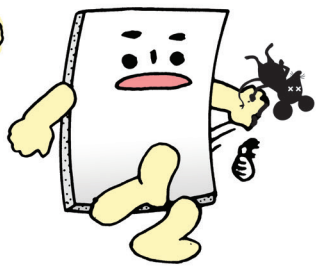
●くさらない



●施工が簡単



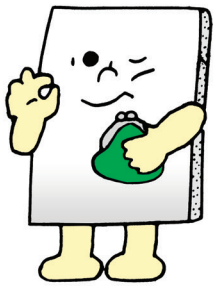
●軽い



●ネズミや白ありに負けない

●音や熱をさえぎる

●耐候性に優れる



●経済的

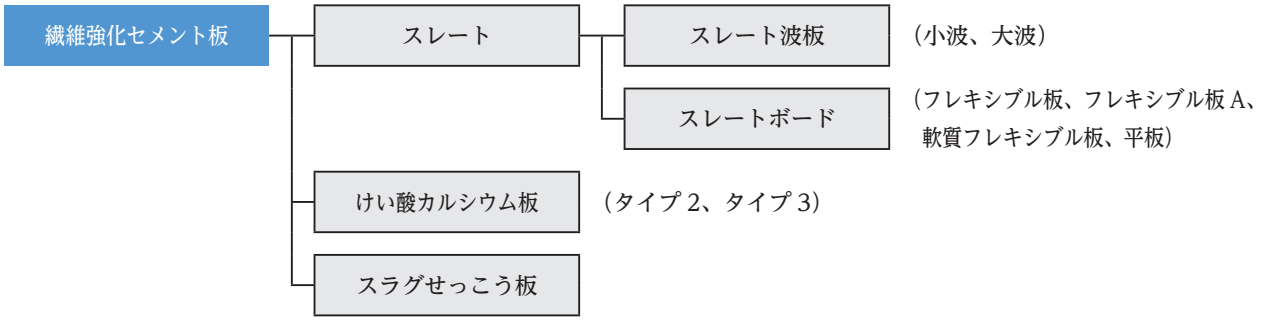
2 種　類

2-1 種　類

繊維強化セメント板とは、石綿以外の繊維で強化成形したスレート（波板及びボード）、けい酸カルシウム板及びスラグせっこう板の総称です。

繊維強化セメント板の品質規格として、JIS A 5430（繊維強化セメント板）があります。

JIS A 5430（繊維強化セメント板）



2-2 組　成

(1) スレート	セメント、繊維及び混和材料を主な原料とした製品です。
(2) けい酸カルシウム板	石灰質原料、けい酸質原料、繊維及び混和材料を主な原料とした製品です。
(3) スラグせっこう板	スラグ、せっこう、繊維及び混和材料を主な原料とした製品です。

2-3 略号及び用途

「JIS A 5430 繊維強化セメント板 」の種類及び略号

繊維強化セメント板の種類			略号	主な用途
スレート	波板	小波	SC	外壁用
		大波	LC	屋根用及び外壁用
	ボード	フレキシブル板 A	FA	内装用及び外装用
		フレキシブル板	F	
		軟質フレキシブル板	NF	
		平板	S	
けい酸カルシウム板	タイプ 2	0.8 けい酸カルシウム板	0.8FK	内装用
		1.0 けい酸カルシウム板	1.0FK	
	タイプ 3	0.2 けい酸カルシウム板	0.2TK	耐火被覆用及び内装用
		0.5 けい酸カルシウム板	0.5TK	
スラグせっこう板	0.8 スラグせっこう板		0.8SGI	内装用
	1.0 スラグせっこう板		1.0SGI	
	1.4 スラグせっこう板		1.4SGI	

3 製品の標準寸法

繊維強化セメント板の標準寸法は次の通りです。

3-1 スレート波板

種類	長さ（mm）	幅（mm）	長さ及び幅の許容差（mm）	厚さ（mm）	厚さの許容差（mm）	山の数	谷の深さ（mm）	ピッチの許容差（mm）	参考	
									ピッチ（mm）	質量（kg/枚）
小波	1,820	720	± 5	6.3	± 0.6	11.5	15 以上	両端を除いた 8 ピッチ 当り 508 ± 2.0	63.5	13 ~ 17
	2,120									15 ~ 20
	2,420									17 ~ 22
大波	1,820	950	± 5	6.3	± 0.6	7.5	35 以上	両端を除いた 5 ピッチ 当り 650 ± 2.0	130	18 ~ 23
	2,000									20 ~ 25
	2,120									21 ~ 27
	2,420									24 ~ 33

3-2 スレートボード

種　類	種類の略号	厚　さ（mm）	幅×長さ（mm）
フレキシブル板	F	3、4、5、6、8	910 × 910 910 × 1,820 910×2,000 a) 910 × 2,420 910 × 2,730 1,000 × 2,000 1,210 × 2,420
フレキシブル板 A	FA		
軟質フレキシブル板	NF	3、4、5、6	
平　板	S	5、6	910 × 910 910 × 1,820 910 × 2,420 1,000 × 2,000

a) フレキシブル板 A に限る

3-3 けい酸カルシウム板タイプ 2

種　類	種類の略号	厚　さ（mm）	幅×長さ（mm）
0.8 けい酸カルシウム板	0.8FK	5、6、8、9、10、12	910 ×　910 910 × 1,820 910 × 2,420 910 × 2,730 1,000 × 2,000 1,210 × 2,420
1.0 けい酸カルシウム板	1.0FK	4、5、6、8、9、10、12	

3-4 けい酸カルシウム板タイプ 3

種　類	種類の略号	形状	厚さ（mm）	標準寸法（mm）
0.5 けい酸カルシウム板	0.5TK（1 号品）	平板	12 以上	610 × 1,000 910 × 1,000 1,525 × 1,000 3,050 × 1,000
0.2 けい酸カルシウム板	0.2TK（2 号品）	平板	12 以上	

4 一般性能

4-1 スレート波板

種類	曲げ破壊荷重（N）	吸水性（%）	透水性	難燃性又は発熱性	（参考）耐衝撃性	
					高さ（mm）	判　定
小波	1,470 以上	30 以下	裏面に水滴が生じてはならない	難燃 1 級又は発熱性 1 級	1,200	貫通孔，亀裂及び割れのないものとする
大波	3,920 以上					

4-2 スレートボード

種　類	かさ密度（g/cm³）（参考値）	曲げ強さ（N/mm²）	吸水率（%）	透水性	吸水による長さ変化率（%）	難燃性又は発熱性
フレキシブル板	約 1.6	28.0 以上	24 以下	裏面に水滴が生じてはならない。	0.20 以下	難燃 1 級又は発熱性 1 級
フレキシブル板 A	約 1.6	28.0 以上	28 以下		0.15 以下	
軟質フレキシブル板	約 1.6	28.0 以上	28 以下		0.25 以下	
平　板	約 1.5	18.0 以上	28 以下		0.25 以下	

4-3 けい酸カルシウム板タイプ 2

種　類	かさ密度（g /cm³）	曲げ強さ（N/mm²）	吸水による長さ変化率（%）	難燃性又は発熱性
0.8 けい酸カルシウム板	0.60 以上 0.90 未満	10.0 以上	0.15 以下	難燃 1 級又は発熱性 1 級
1.0 けい酸カルシウム板	0.90 以上 1.20 未満	13.0 以上		
試験方法	JIS A 5430	JIS A 5430	JIS A 5430	JIS A 5430

4-4 けい酸カルシウム板タイプ 3

種　類	かさ密度（g /cm³）	曲げ強さ（N/mm²）	難燃性又は発熱性
0.5 けい酸カルシウム板 0.5TK（1 号品）	0.35 以上 0.70 未満	1.5 以上	難燃 1 級又は発熱性 1 級
0.2 けい酸カルシウム板 0.2TK（2 号品）	0.15 以上 0.35 未満	0.39 以上	
試験方法	JIS A 5430	JIS A 5430	JIS A 5430

5 防火性能

当協会加盟会社は、不燃材料、防火構造、準耐火構造および耐火構造について、以下の国土交通大臣認定を協会加入会社が連名で取得しています。これらの認定仕様の詳細は認定書および別添をご参照ください。

なお、連名で認定を取得していますが、販売商品の種類およびその認定の取り扱いは個々の会社により異なりますので、認定を使用の際にご確認ください。

協会加入会社連名認定について

- 連名認定に該当する製品の性能は、メーカー各社が自社製品に関して個別に責任を負うものであり、当協会が共同して責任を負うものではありません。また、認定書は各社の責任において交付しますので各社にお問い合わせください。
- 会員が独自に不燃材料認定及び防火・耐火認定を取得して販売する製品は連名認定を使用できません。設計、施工などに際しては認定番号及び商品名をご確認ください。

5-1 不燃性能（連名認定）

認定番号	一般名	種　類
NM-8576	繊維強化セメント板	スレート波板、スレートボード、けい酸カルシウム板タイプ２
NM-8577	化粧繊維強化セメント板	NM-8576 を基材とする化粧板
NM-8578	繊維混入けい酸カルシウム板	けい酸カルシウム板タイプ２、けい酸カルシウム板タイプ３
NM-8579	化粧繊維混入けい酸カルシウム板	NM-8578 を基材とする化粧板

(1) 国土交通大臣認定の不燃番号：NM-8576（連名認定）「繊維強化セメント板」

繊維強化セメント板
- スレート波板（大波、小波）
- スレートボード（フレキシブル板、フレキシブル板 A、軟質フレキシブル板、平板）
- けい酸カルシウム板（タイプ 2）
- 有孔板（スレートボード、けい酸カルシウム板に吸音用の貫通孔をあけたもの）

※：厚さは、JIS A 5430 の規定に準じますが、規定以外のものも含まれます。

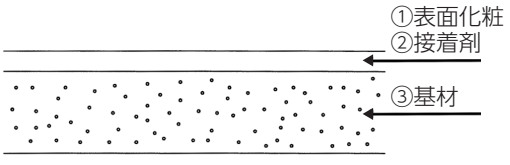
(2) 国土交通大臣認定の不燃番号 :NM-8577（連名認定）「化粧繊維強化セメント板」

化粧繊維強化セメント板 NM-8577 は、繊維強化セメント板 NM-8576 に化粧を施したものです。

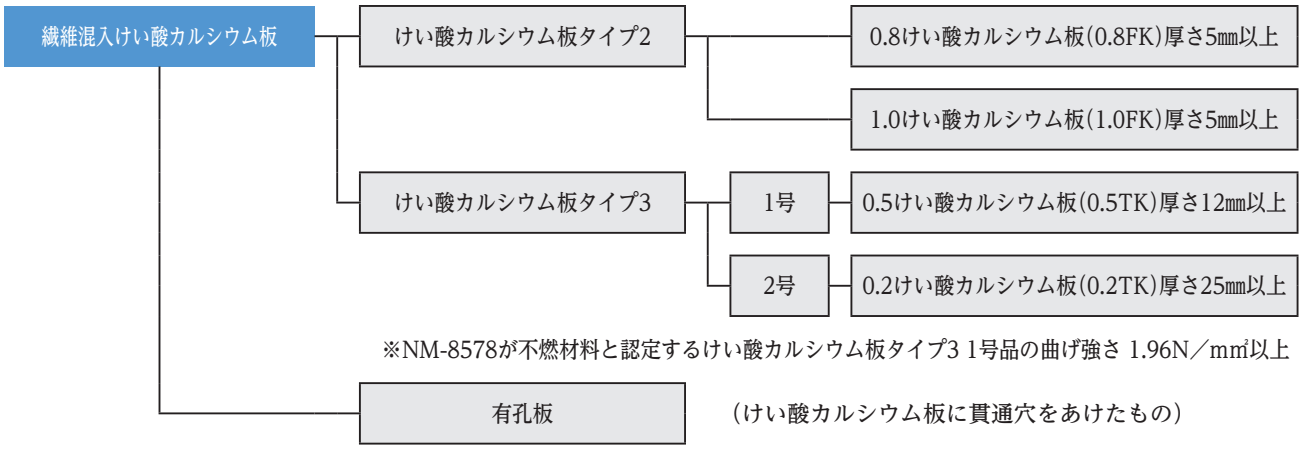
①基　　材：繊維強化セメント板 NM-8576

②表面化粧：化粧材料（有機質固形分量）250g/㎡以下

塗料、化粧材料、合成樹脂等（接着剤：酢酸ビニル系、アクリル系、ウレタン系等）



（3）国土交通大臣認定の不燃番号：NM-8578（連名認定）「繊維混入けい酸カルシウム板」

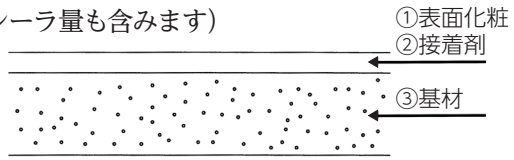


（4）国土交通大臣認定の不燃番号：NM-8579（連名認定）「化粧繊維混入けい酸カルシウム板」

化粧繊維混入けい酸カルシウム板 NM-8579 は、繊維混入けい酸カルシウム板 NM-8578 に化粧を施したものです。

①基　　材：繊維混入けい酸カルシウム板 NM-8578

②表面化粧：化粧材料（有機質固形分量）200g/㎡以下（裏面シーラ量も含みます）
塗料、化粧材料、合成樹脂等（接着剤：酢酸ビニル系、アクリル系、ウレタン系等）



（5）連名認定「貫通穴有孔板」の不燃材料認定条件

連名認定 NM-8576、NM-8578 は、貫通穴有孔板の開孔率を 28%以下、かつ、木造下地の場合には、不燃材料の裏打ち材料を用いると規定している。

尚、木下地の場合は、木下地幅より大きい不燃材料を敷き込んでください。

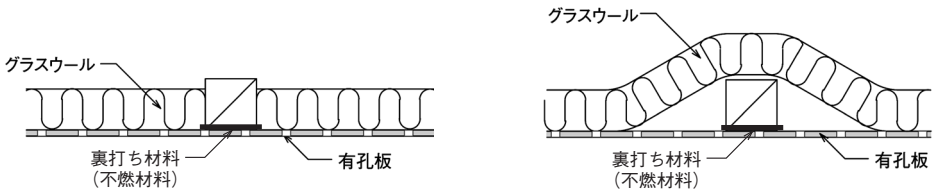


図 3-1　木下地における貫通穴有孔板の取り付け例